

丹波篠山市教育長 様

丹波篠山市立味間小学校長 浅田 智広

学校運営協議会について、次のとおり報告いたします。

第4回 味間小学校運営協議会実施報告書

1 学校運営協議会の開催について

- (1) 開催日時 令和8年2月25日(水) 13:40~16:40
- (2) 開催場所 味間小学校校長室

2 出席した学校運営協議会委員の氏名・所属等及び出席状況

氏名	所属等	出欠	氏名	所属等	出欠
松田 吉孝	味間まち協会会長	○	向井 真基子	P T A顧問	○
石塚 正明	自治会長会長	○	浅田 智広	校長	○
金井 拓男	丹南青少協地区長	○	河南 崇	教頭	○
波多野恭守	福寿会会長	○	梅垣 佳子	主幹教諭	×
田中 一裕	民生児童委員理事	○	大西 美和	主幹教諭	○
阪田 裕子	P T A会長	×	高濱 孝次	主幹教諭	○

3 傍聴人数 (0) 名

4 議題及び会議の公開又は非公開の別、主な協議事項及び主な意見内容 (審議の概要)

(1) 令和8年度の主な行事予定について【公開】

レジメに沿って説明。

- ・特に意見はなし

(2) 令和8年度の児童数および学級編成について【公開】

レジメに沿って説明。今年度より10名程度減る見込み。

- ・他校でも減っているのか  
→市全体でその傾向である。味間は、若干名の減少である。

(3) 学校の状況について (生徒指導)

- ・不登校児童の様子はどうか。  
→学校にまったく登校できていないわけではない。不登校の理由は、さまざまであり、保護者とも連携しながら対応している。
- ・中学校に進学してから不登校になる子もいるのか  
→中学校で不登校になるケースもあれば、中学校に行ってから不登校ではなくなるケースもある。
- ・インターネットのルールが家庭ではなかなか守れていない現状がある。  
→学校でも指導はしているが、家庭でも子どもと対話してルールを決めていただく必要はある。特に、タブレットの使い方や時間が長くなることが課題であると考えている。

(4) 学校評価に係る学校関係者評価について【公開】

①別紙「令和7年度学校評価における三者(児童・保護者・教職員)比較からみる分析及び改善策」

- ・「あまり楽しくない」と答えている児童も一定数いるが、どういった理由か。  
→追跡して個々に調べていないが、理由として「友達とけんかした」「登下校でトラブルがあった」等を挙げている。その時の気持ちでアンケートに答えている側面はある。
- ・今日の授業でも学年が上がるごとにタブレットを使って発表するなど、自分の考えがはっきりと言えていた。アンケート結果にもそのあたりが表れている。
- ・「自分や友達のことを大切に生活している」で教職員が「あまり思わない」と答えて

いる人がいるのはどういう理由か。

→実際に児童同士のトラブルは日常的にある。それについてどう考えるかは教員によっても異なる。

・ふるさと教育は何のためにしているのか。

→地域に残る人も出ていく人も、ふるさとを誇りに思ったり、愛着を持ったりすることは大切。味間は1学年100人規模なので地域学習がある程度限定される状況はある。

## ②学校評価報告書

・発達支持的生徒指導の推進はC評価であるが、なぜか。

→子どもたちが主体的に活動していく中で、教職員の間で十分な共通理解が必要な場面があった。

## (5)学校運営協議会提言を受けて【公開】

・自由服登校については、児童会とも話し合っ、方法を決めていく

・体操服登校は可とする。

・近隣の畑について、所有者との話し合いで可能であれば借りることをお願いする。

## (6)予算の執行状況【公開】

・適切に処理されている

## (7)安全点検の結果について【公開】

・蛍光灯は生産が終了になるので対応が必要。

・トイレの和式は必要ないのではないか。

→洋式が苦手な児童がいるかもしれないので和式を一つだけ残しているようである。